

第1章 最近の経営状況と今後の見通し

調査票 問1

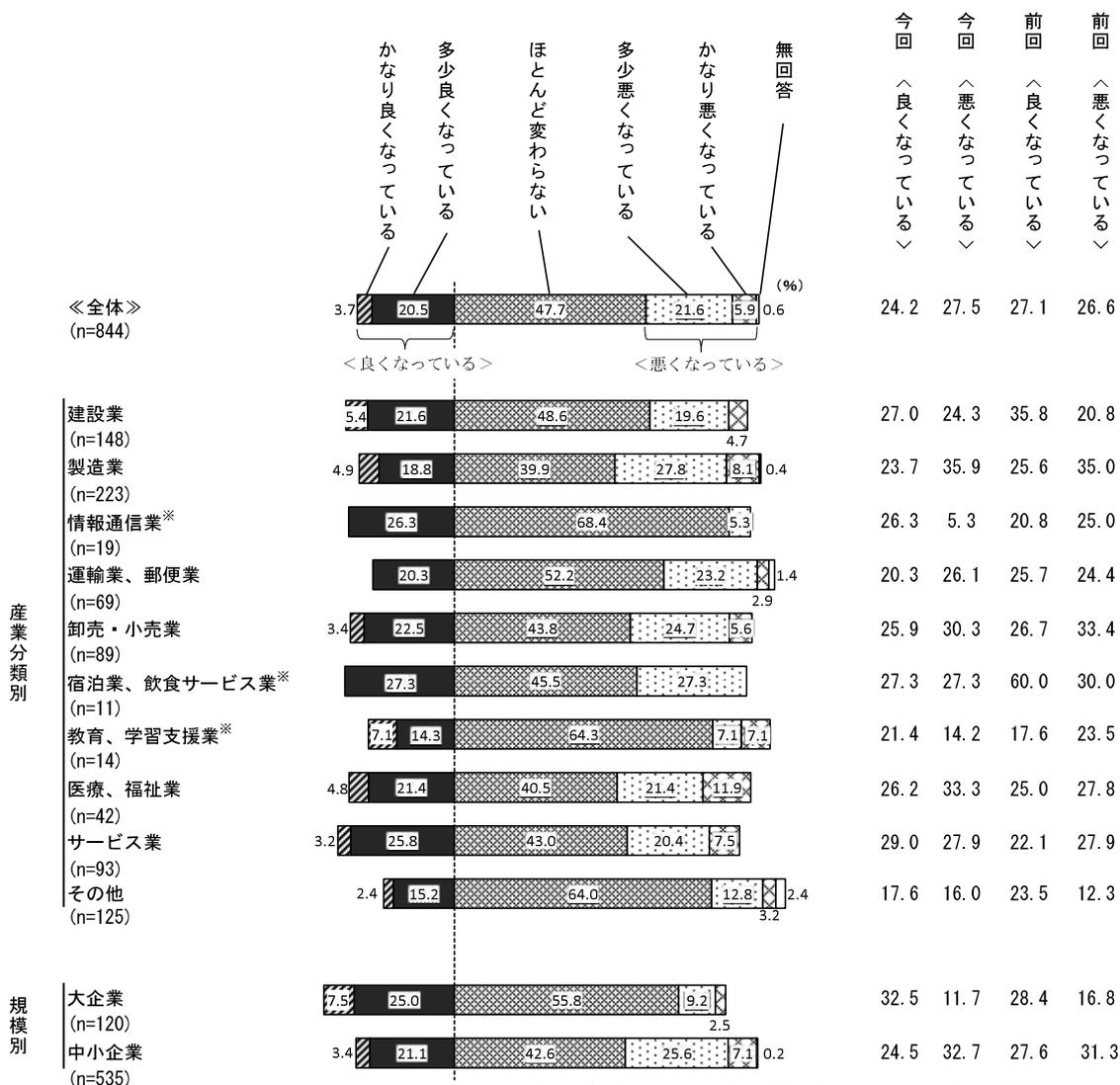
1 昨年同時期と比べた経営状況

第1-1-1図は、昨年同時期と比べた経営状況を示したものである。全体では、「かなり良くなっている」(3.7%)と「多少良くなっている」(20.5%)を合わせた<良くなっている>は24.2%となっている。一方、「かなり悪くなっている」(5.9%)と「多少悪くなっている」(21.6%)を合わせた<悪くなっている>は27.5%となっており、<悪くなっている>が<良くなっている>を上回っている。前回調査と比較すると、今回調査は<良くなっている>は2.9ポイント低く、<悪くなっている>は0.9ポイント高くなっている。

産業分類別でみると、<良くなっている>はサービス業(29.0%)が最も高く、<悪くなっている>では製造業(35.9%)が最も高かった。前回調査と比較すると、<良くなっている>はサービス業で6.9ポイント、高く、建設業で8.8ポイント、運輸業、郵便業で5.4ポイント低かった。<悪くなっている>は医療、福祉業で5.5ポイント、卸売・小売業で3.1ポイント低くなっている。

規模別でみると、<良くなっている>は大企業が32.5%、中小企業が24.5%、<悪くなっている>は大企業が11.7%、中小企業が32.7%となっている。前回調査と比較すると、<良くなっている>は大企業が4.1ポイント高く、中小企業が3.1ポイント低くなっており、<悪くなっている>は大企業が5.1ポイント低く、中小企業が1.4ポイント高くなっている。

第1-1-1図 昨年同時期と比べた経営状況 (生産・販売状況)



*調査数が30以下は参考値のため、コメント・分析に含めていない

2 経営悪化要因

調査票 問2

経営状況が<悪くなっている>と回答した要因を答えてもらった。第1-1-2表及び第1-1-3図は、経営悪化要因を示したものである。全体では、「国内営業・販売の動向」(49.1%)が最も高かった。これに「仕入価格の動向」(46.1%)、「人材確保・維持の動向」(35.8%)が続いている。

産業分類別でみると、「国内営業・販売の動向」が最も高いのは製造業(72.5%)、「仕入価格の動向」が最も高いのも製造業(51.3%)、「人材確保・維持の動向」が最も高いのは建設業(47.2%)となっている。

規模別でみると、中小企業では「国内営業・販売の動向」(53.1%)が最も高かった。これに「仕入価格の動向」(46.9%)、「人材確保・維持の動向」(33.7%)と続いている。

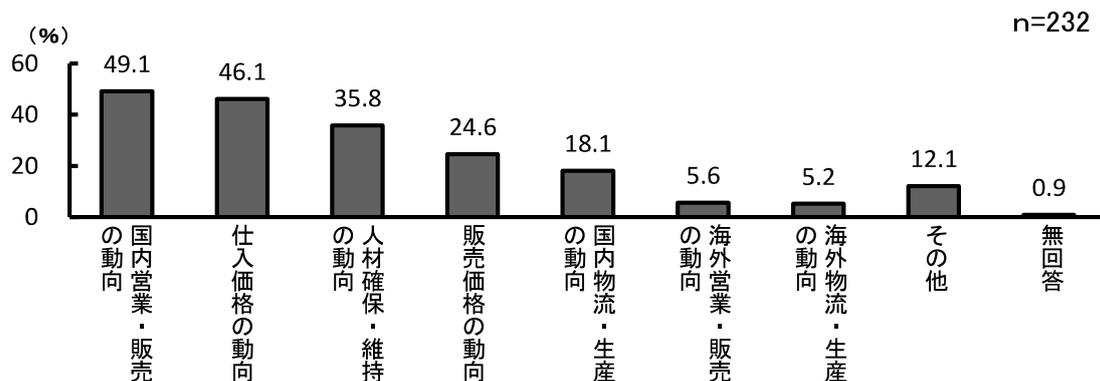
第1-1-2表 経営悪化要因

(単位：%)

		調査数	国内営業・販売の動向	国内物流・生産の動向	海外営業・販売の動向	海外物流・生産の動向	販売価格の動向	仕入価格の動向	人材確保・維持の動向	その他	無回答
全体		232	49.1	18.1	5.6	5.2	24.6	46.1	35.8	12.1	0.9
産業分類別	建設業	36	36.1	2.8	—	2.8	13.9	33.3	47.2	11.1	—
	製造業	80	72.5	26.3	10.0	7.5	25.0	51.3	22.5	2.5	—
	情報通信業*	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	—
	運輸業、郵便業*	18	16.7	55.6	—	11.1	11.1	16.7	55.6	5.6	—
	卸売・小売業*	27	51.9	7.4	7.4	—	48.1	63.0	25.9	3.7	—
	宿泊業、飲食サービス業*	3	33.3	33.3	—	33.3	66.7	66.7	66.7	—	—
	教育、学習支援業*	2	50.0	—	—	—	—	100.0	50.0	—	—
	医療、福祉業*	14	14.3	7.1	—	—	7.1	42.9	57.1	64.3	—
	サービス業*	26	46.2	11.5	3.8	—	38.5	57.7	42.3	23.1	—
	その他*	20	40.0	15.0	10.0	10.0	10.0	30.0	35.0	25.0	5.0
規模別	大企業*	14	35.7	28.6	7.1	—	14.3	35.7	42.9	42.9	—
	中小企業	175	53.1	18.3	5.1	5.7	26.9	46.9	33.7	9.1	—

※調査数が30以下は参考値のため、コメント・分析に含めていない

第1-1-3図 経営悪化要因



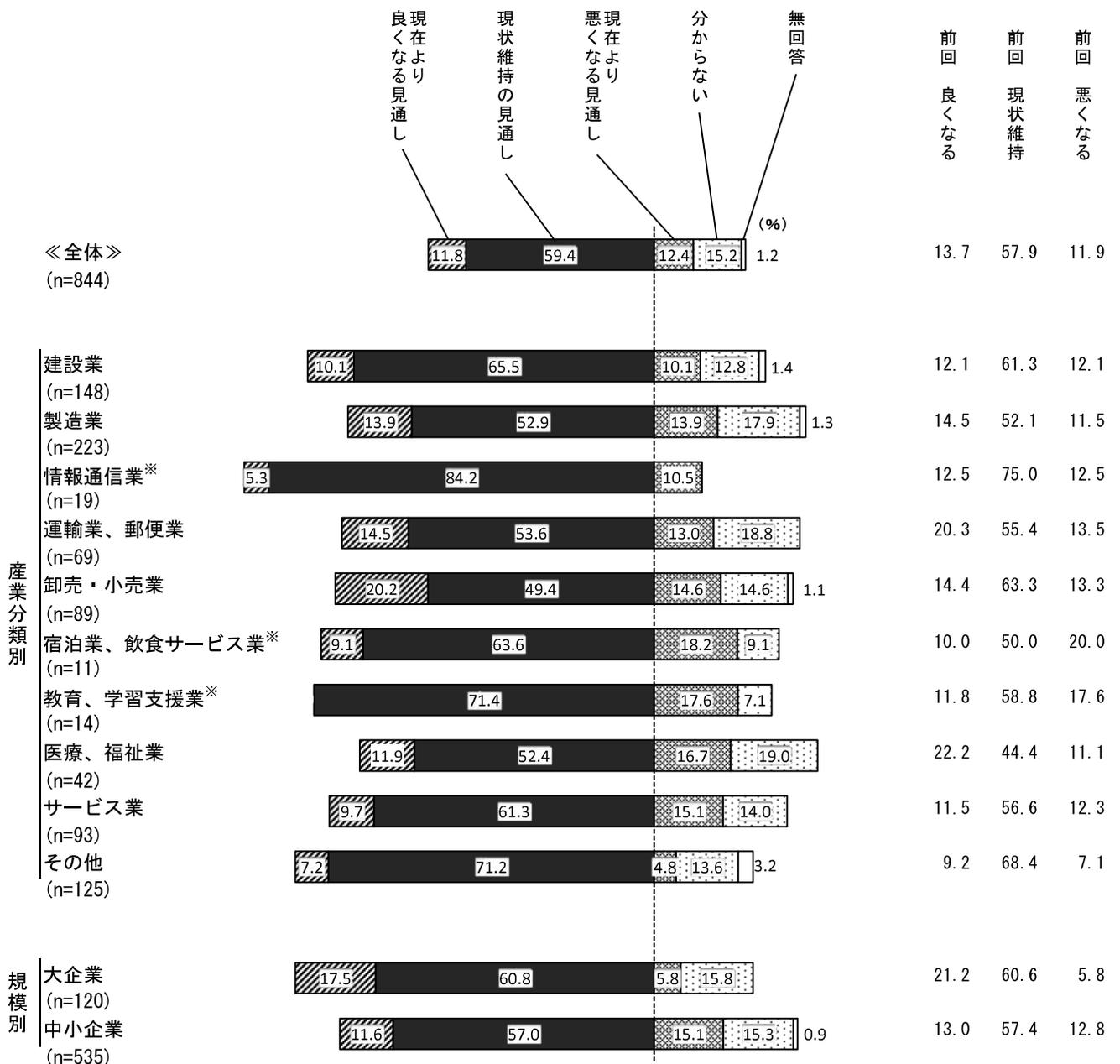
3 今後1年間の経営動向

第1-1-4図は、今後の経営動向の見通しを示したものである。全体では、「現状維持の見通し」(59.4%)が最も高かった。以下、「現在より悪くなる見通し」(12.4%)、「現在より良くなる見通し」(11.8%)の順となっている。前回調査と比較すると、「現在より良くなる見通し」が1.9ポイント低く、「現在より悪くなる見通し」は同水準となっている。

産業分類別でみると、「現在より良くなる見通し」が最も高いのは卸売・小売業(20.2%)となっている。前回調査と比較すると、「現在より良くなる見通し」は卸売・小売業で5.8ポイント高くなっている。

規模別でみると、「現状維持の見通し」が大企業(60.8%)、中小企業(57.0%)でともに最も高かった。前回調査と比較すると、「現状維持の見通し」は大企業、中小企業ともに同水準となっている。

第1-1-4図 今後1年間の経営動向



*調査数が30以下は参考値のため、コメント・分析に含めていない